

情勢をつかみ確信を強めよう

= 勇気を持って国労加入を呼びかけよう =



組合員の購読料は組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 阿部 力
編集責任者 宮崎浩則

No. 1667 定価 15円

2005年

10月5日

国労加入を 大胆に訴えよう

我が支部自慢

(第一三回・大宮工場支部)

国労大宮工場支部は、大宮駅の北側に位置しているJR東日本・大宮総合車両センター(旧大宮工場)内にあり、JR東日本関係は、敷地一五万五千平米、建屋七万八千七百平米、検査車両七二九両、社員五〇四人。また敷地北側には、JR貨物・大宮車両所があり、九一人の社員が働いている。業務は、東日本では八年に一回の全般検査後の各種事件が解決・和解へと動いてきた。

この動きを職場の情勢と合わせいかに掴み取るかが重要なポイントと言える。

一年間の動きを整理しよう

昨年一〇月の第五五回定期地方大会を前後し、JR東日本管内の配属差別一三事件の和解、年末にかけJR発足後の差別職場の代名詞とも言われてきた「ベンディング」職場の縮小と元系統を中心とした職場復帰、更に、究極の不当労働行為と言われる「昇進差別」事件の和解作業が年末から一気に加速し、今年九月末までの期間に中央労働委員会を舞台に、一三回の協議が積み重ねられてきている。また二月には横浜入活事件の解決、八月には鶴見駅解雇・配転事件の和解成立と、JR

確信を力に変え 組織拡大へ

注目すべきは中央労働委員会を舞台に進められている、「昇進差別」事件の和解動向と言える。

試験制度導入以降毎年四月から一〇月にかけて、組織脱退の動きが見られてきた。しかし今年度は東日本の全管内でこの動きは見られなかった。この事は少なくとも、会社が労労



執行部の皆さん

昼休み集会

を達成することができた。その他、日常的には月二回工場門前での「国労大宮」の配布行動なども続けている。

田島委員長は「不採用事件の解決に向けた団体署名が目標を突破した。財政支援としてのアルパ物資販売にも支部全体で取り組みを強化している。昇進和解の協議も進み、明るい兆しが出ている。本部に団結して取り組みを強化していく。」と決意を述べている。

(国労大宮工場支部教宣部長・田代邦雄)

職場における教育に国労組合員も入れて行うようになった等、「変化」を報告する発言も少なくなかった。

この一年間の動きを以前の動きと比較し、職場における会社の言動、対応などをつぶさに掴み取ることがより大切な時期にきている。

「分割・民営」化以降続けてきた攻撃が来ない情勢にあることをしっかりと見据え、私たち自身が勇気を持って仲間にも国労加入を強く呼びかけよう。

国鉄時代からの二〇余年、差別と兵糧攻めに耐え、職場・仕事・仲間を考え、愚直に働き続けてきたこれまでの思いを今一度闘いの力に転化すると同時に、集中すべき山場を全体で認識し、国労東京が一丸となり全体の情勢を前進させよう。

職場の他労組の仲間は、国労組合員からの国労加入の呼びかけを待っている。これまで培った芽に花を咲かせよう。

第25回 サッカー大会を開催

優勝は横浜 準優勝は上野・五支部チーム

台風一四号が接近し小雨の降る中、第二五回サッカー大会が駒沢運動公園補助競技場で開催された。

横浜チームの準備のため、雨も想定内との声もあつたが、改装された競技場は、人工芝が敷き詰められ替え室やシャワールームまである本格的なもので、グランド状態が良好なため、試合開始となった。

このサッカー大会は、そもそも八王子支部の呼びかけにより、八王子とその他のチームでの対戦というこ

とで始まったが、それぞれの支部に持ち帰り、支部毎にチームを作ろうとなり、サッカー同好会として継続開催されてきた。

一九九四年には東京地本の主催となり、一月一六日に第一回サッカー大会が埼玉県三芳グラウンドで開催されたから約一二年、参加チームも増え一定の広がりもみせ、組合員の親睦を図るという目的も達成することができた。

今回で地本サッカー大会は休止となることから、開会式では阿部委員長と宮崎教宣部長、同好会の小宮山会長の挨拶が行われた。参加された支部やチームの皆さん、大変御苦勞様でした。

なお今後も、八王子、新橋、大井・大船工場支部チームはサッカーを続けるとのこと。



第三三回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会は、八月四日に第一日目、九月一日に準決勝・三位決定戦・決勝戦が行われ、横浜支部Aチームが、一九九二年の第二〇回大会以来実に一三年ぶりに優勝した。準優勝した八王子チームが優勝すれば、何と一九八七年の分割・民営化以来一八年ぶりとなるところだっただけに、白熱した好試合となった。第三位は、勝つておいしい酒が飲みたいとの意地により、上野支部チームが逆転して横浜支部Bチームを退けた。

今回の大会は、一人のけが人を出したが、総じて天候にも恵まれ成功裏に終了すること

【結果】

優勝 横浜支部Aチーム
準優勝 八王子支部チーム
第三位 上野支部チーム
第四位 横浜支部Bチーム
最高殊勲選手賞 酒井英明(横浜支部A)
最優秀投手賞 杉沢武美(横浜支部A)
敢闘賞 内藤栄三(八王子支部)
打撃賞 石川慎二(上野支部)

13年ぶり 横浜支部Aチームが優勝

第三三回軟式野球大会



大会を支えた国労東京審判団の皆さん



第三位の上野支部チーム



準優勝の八王子支部チーム



優勝の横浜支部Aチーム



第四位の横浜支部Bチーム

「がん」の生涯保障<21世紀がん保険>

BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	100万円 (一時金として) がんの場合 10万円 上度内新生物の場合
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

保険期間:終身・契約年齢:満3歳~満80歳・解約払戻金0コース
<引受保険会社> 自信があります。私の医療保険。
AFIAC アリカンファミリー生命
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障<特約MAX21終身タイプ>

ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障【本人型】
病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき(手術の種類により)
がんを含む病気・ケガで所定の手術を受けたとき	5・10・20万円

保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります。)・疾病・災害入院給付金日額5千円
契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。
◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。
■専業代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F
AFN広告-2003-015-0402051 2月21日